

令和8年3月

人権一口講座



※世界に一つだけの花♪※

冷たいアスファルトの隙間から顔を出し、春の風に揺れながら凜と咲き誇る花。

駐車場から職場へと向かう、お寺の道路脇に、この花は咲く。

その姿は、雨の日も風の日も、しっかりと根を張り、決して恵まれた環境ではないにもかかわらず、持てる力すべてを尽くして美しさを表現している。ただ「咲く」という使命をまっとうし、自らの存在を誇りに思っているかのようだ。

まるで私たちの人生そのものであり、時に困難に直面し、周囲の状況が厳しくても、それでも自分らしく生き抜くことの大切さを教えてくれているのではないだろうか。

社会の波に揉まれ、自信を失いそうになったとき、この花のことを思い出してほしい。どんな環境でも、あなたはあなたのままでいい。比べる必要も、競い合う必要もない。ただ、あなた自身の花を咲かせることが大切だよ。

誰もが唯一無二の存在であり、特別な価値を持っていることを教えてくれる。あの花も、そして私達も、この世に一つだけの大切な存在。完璧でなくてもいい。誰かの期待に応えるために生きるのではなく、自分らしい輝きを見つけることこそが、人生の本当の意味なのかもしれない。

誰かのためではなく、自分のために咲くという覚悟を持って生きていきたい。

この世界に一つだけの花として^^

